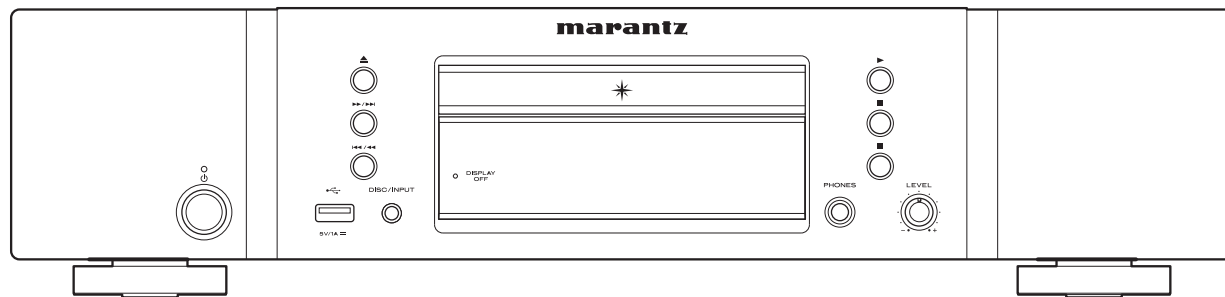


marantz



CD6007 | CD Player

取扱説明書

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
換気についてのご注意	4
移動させるときのご注意	4
付属品	5
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
各部の名前	7
フロントパネル	7
ディスプレイ	10
リアパネル	11
リモコン	12

接続のしかた

アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
USB 端子に USB メモリーを接続する	21
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	22
接続	22
設定	22
オーディオタイマーを接続する	23
電源コードを接続する	24

再生のしかた

基本操作	26
電源を入れる	26
電源をスタンバイにする	26
メディアモードを切り替える	27
ディスプレイの明るさを切り替える	27
CD を再生する	28
CD を再生する	28
好みの順序で再生する(プログラム再生)	30
データ CD を再生する	31
ファイルを再生する	32
USB メモリーを再生する	34
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	35

設定のしかた

設定メニュー 一覧	37
設定メニューの操作のしかた	38
H/P AMP GAIN	39
Filter	39
Digital Out	40
Timer Play	40
Auto-Standby	41

困ったときは

こんなときの解決方法	43
故障かな？と思ったら	44
電源が入らない / 電源が切れる	45
リモコンで操作ができない	46
本機のディスプレイが表示されない	46
音がまったく出ない	47
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	47
希望する音が出ない	47
USB メモリーが再生できない	48
ディスクが再生できない	49
保証と修理について	50

付録

ディスクの再生について	52
ファイル	52
USB メモリーの再生について	54
ファイルの再生順番について	55
フォルダとファイルについて	56
メディア使用時のご注意	57
ディスクの入れかた	57
メディアの取り扱いについて	58
ディスクのお手入れのしかた	58
用語の解説	59
主な仕様	61
索引	64

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



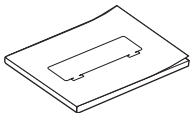
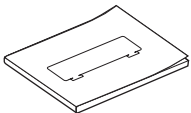
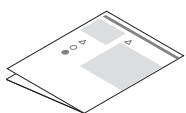
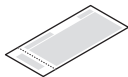
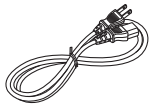
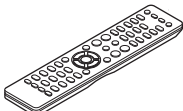
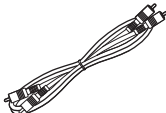
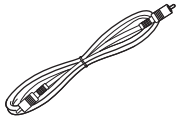
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

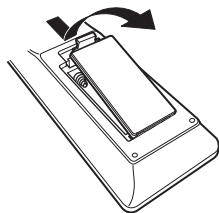
付属品

ご使用前にご確認ください。

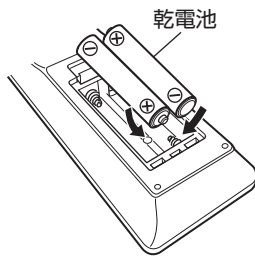
 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 保証書
 電源コード【本機専用】	 リモコン (RC004PMCD)	 単4形乾電池(2本)	 オーディオケーブル
 リモート接続ケーブル			

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



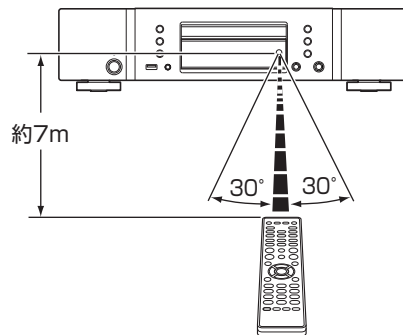
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

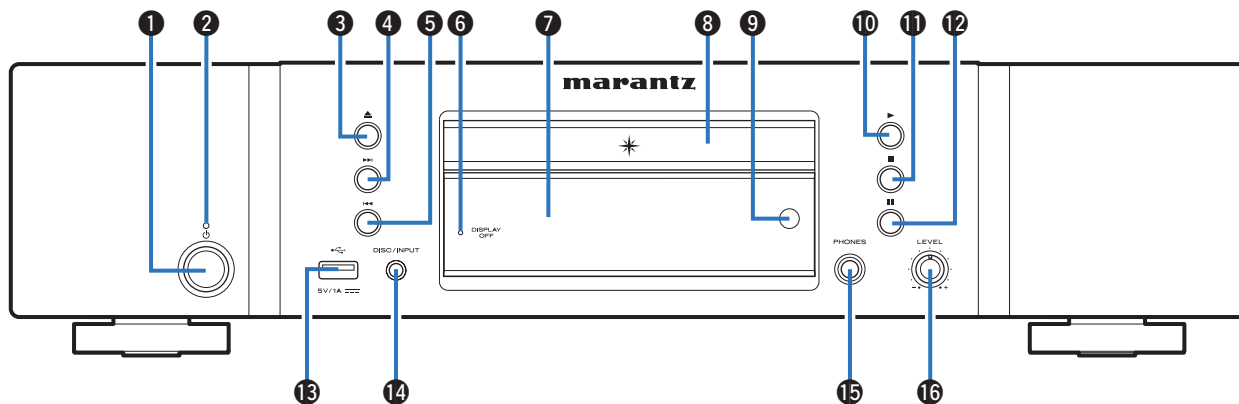
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。

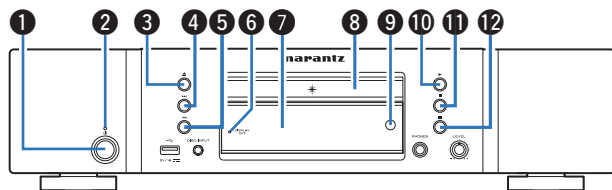


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(🔌)

本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(📖 26 ページ)

② 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- 電源オン時: 消灯
- スタンバイ時: 赤色

③ ディスクトレイ開閉ボタン(▲)

ディスクトレイを開閉します。(📖 28 ページ)

④ スキップボタン(▶▶)

次の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早送りします。

⑤ スキップボタン(◀◀)

再生中の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しします。

⑥ ディスプレイオフ表示(DISPLAY OFF)

ディスプレイの明るさが消灯のときに点灯します。(📖 27 ページ)

⑦ ディスプレイ

各種情報を表示します。(📖 10 ページ)

⑧ ディスクトレイ

ディスクを挿入します。

⑨ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(📖 6 ページ)

⑩ プレイボタン(▶)

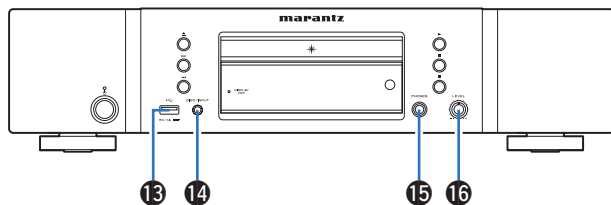
再生をはじめます。

⑪ ストップボタン(■)

再生を停止します。

⑫ ポーズボタン(⏸)

再生を一時停止します。



13 USB 端子

USB ストレージ(USB メモリーなど)を接続します。(P.21 ページ)

14 メディアモード切り替えボタン(DISC/INPUT)

再生するメディアモードを切り替えます。(P.27 ページ)

15 ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを接続します。

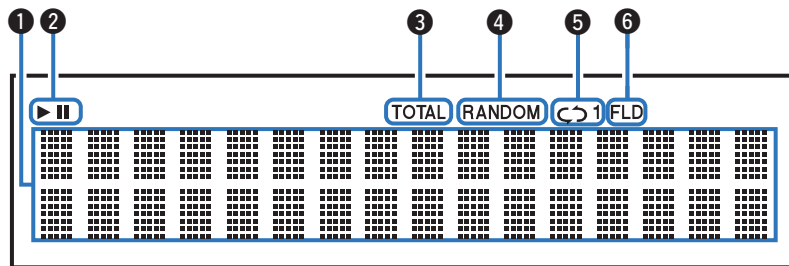
16 ヘッドホン音量調節つまみ(LEVEL)

ヘッドホンの音量を調節します。

ご注意

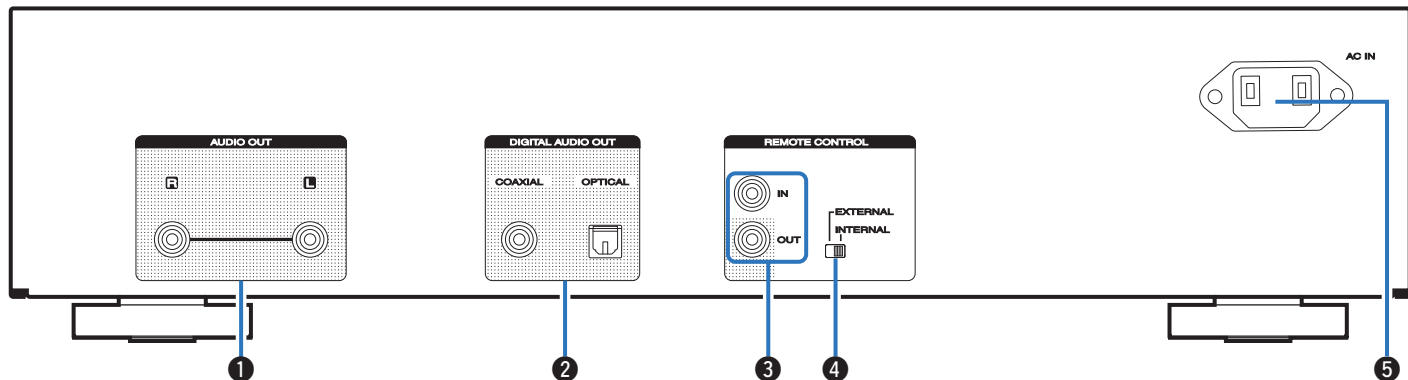
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

ディスプレイ



- ① **インフォメーションディスプレイ**
再生時間表示など、各種情報を表示します。
- ② **再生モード表示**
▶:再生中に点灯します。
||:一時停止中に点灯します。
- ③ **トータル時間表示**
ディスクに収録されている全曲数および全収録時間を表示しているときに点灯します。
- ④ **ランダム表示**
ランダム再生中に点灯します。
- ⑤ **リピートモード表示**
リピートモードの設定に合わせて点灯します。
- ⑥ **フォルダ再生モード表示**
CD-R/CD-RW の再生範囲の設定がフォルダ再生モードのときに点灯します。(P.33 ページ)

リアパネル



① アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(P.19 ページ)

② デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT)

デジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続します。(P.20 ページ)

③ リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能付きの Marantz 製アンプを接続するときに使用します。(P.22 ページ)

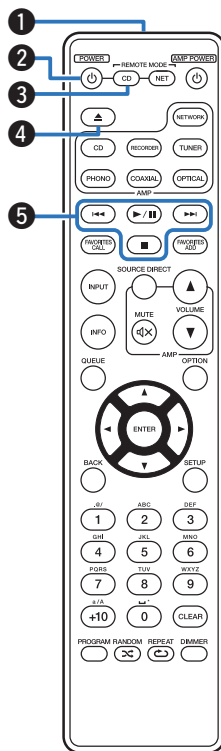
④ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ

アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを“EXTERNAL” に切り替えると、アンプが受信したリモコン信号を本機が受けて動作します。(P.22 ページ)

⑤ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(P.24 ページ)

リモコン



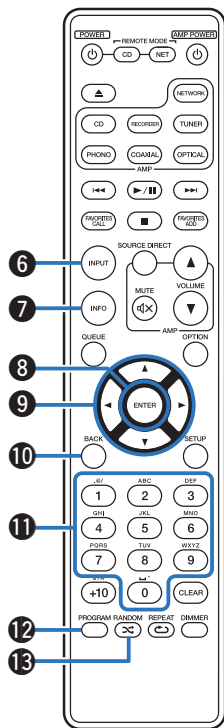
付属のリモコンは本機だけでなく、Marantz 製アンプおよびネットワークオーディオプレーヤーも操作できます。

- 「アンプの操作」(P.15 ページ)
- 「ネットワークオーディオプレーヤーの操作」(P.16 ページ)

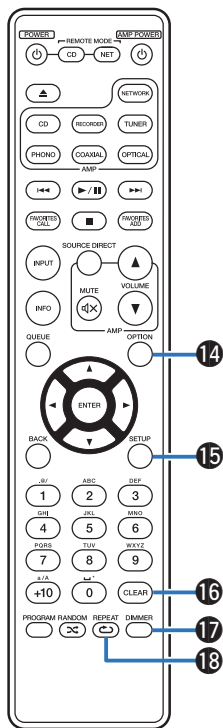
■ 本機の操作

本機を操作するときは、REMOTE MODE CD ボタンを押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えます。

- 1 リモコン信号送信窓
リモコンの信号を送信します。(P.6 ページ)
- 2 電源ボタン(POWER )
電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.26 ページ)
- 3 リモートモード切り替えボタン
(REMOTE MODE CD)
リモコンを CD プレーヤーの操作モードに切り替えます。
- 4 ディスクトレイ開閉ボタン()
ディスクトレイを開閉します。(P.28 ページ)
- 5 システムボタン
再生に関する操作をします。



- ⑥ **メディアモード切り替えボタン(INPUT)**
再生するメディアモードを切り替えます。(P.27 ページ)
- ⑦ **インフォメーションボタン(INFO)**
ディスプレイに表示する、再生中の曲情報を切り替えます。
- ⑧ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。
- ⑨ **カーソルボタン(△▽◀▶)**
項目を選択します。
- ⑩ **バックボタン(BACK)**
ひとつ前の項目に戻ります。
- ⑪ **数字ボタン(0~9)**
数値を入力します。
- ⑫ **プログラムボタン(PROGRAM)**
プログラム再生をします。(P.30 ページ)
- ⑬ **ランダムボタン(RANDOM)**
ランダム再生をします。



⑭ オプションボタン(OPTION)

データ CD の再生範囲を選択します。(P.33 ページ)

⑮ セットアップボタン(SETUP)

ディスプレイに設定メニューを表示します。(P.38 ページ)

⑯ クリアボタン(CLEAR)

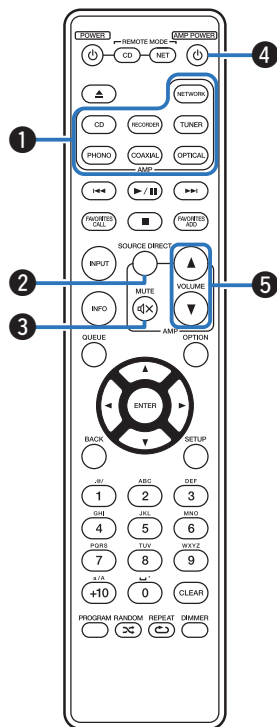
プログラム再生の登録を取り消します。(P.30 ページ)

⑰ ディマーボタン(DIMMER)

ディスプレイの明るさを調節します。(P.27 ページ)

⑱ リピートボタン(REPEAT)

リピート再生をします。



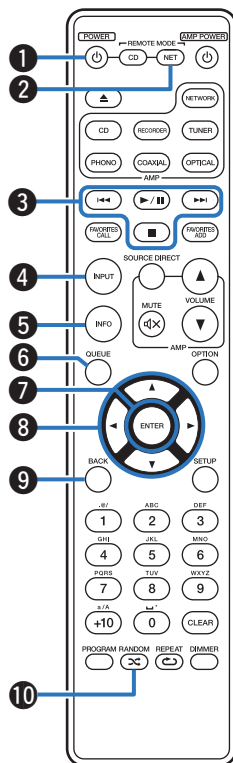
■ アンプの操作

Marantz 製アンプを操作できます。

- ① 入力ソース切り替えボタン
- ② ソースダイレクトボタン(SOURCE DIRECT)
- ③ ミュートボタン(MUTE )
- ④ 電源ボタン(AMP POWER )
- ⑤ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)



- 一部操作ができない製品もあります。

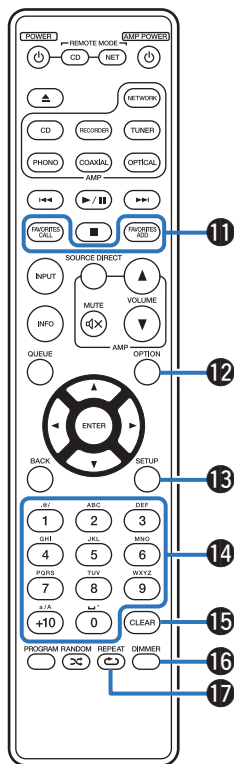


■ ネットワークオーディオプレーヤーの操作

Marantz 製ネットワークオーディオプレーヤーを操作できます。

Marantz 製ネットワークオーディオプレーヤーを操作するときは、REMOTE MODE NET ボタンを押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えます。

- ① 電源ボタン(POWER ㊤)
- ② リモートモード切り替えボタン
(REMOTE MODE NET)
- ③ システムボタン
- ④ メディアモード切り替えボタン(INPUT)
- ⑤ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑥ キューリスト呼び出しボタン(Queue)
- ⑦ エンターボタン(ENTER)
- ⑧ カーソルボタン(△▽◀▶)
- ⑨ バックボタン(BACK)
- ⑩ ランダムボタン(RANDOM ㊀)



⑪ お気に入り登録/ 呼び出しボタン (FAVORITES ADD / CALL)

⑫ オプションボタン (OPTION)

⑬ セットアップボタン (SETUP)

⑭ 数字/文字ボタン (0~9、+10)

⑮ クリアボタン (CLEAR)

⑯ ディマーボタン (DIMMER)

⑰ リピートボタン (REPEAT )



• 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次

アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
USB 端子に USB メモリーを接続する	21
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	22
オーディオタイマーを接続する	23
電源コードを接続する	24

ご注意

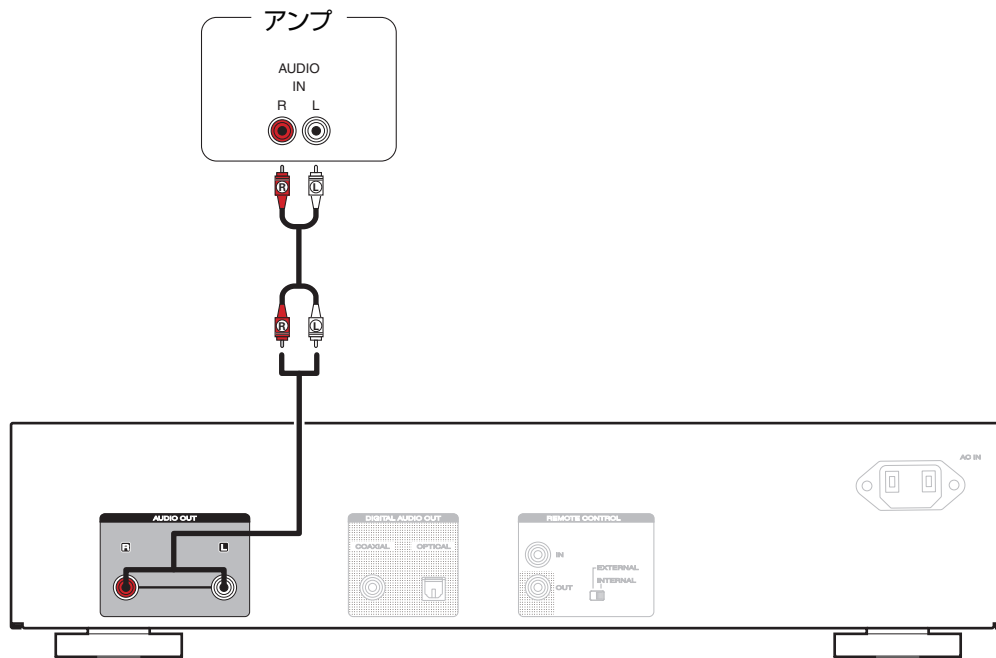
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

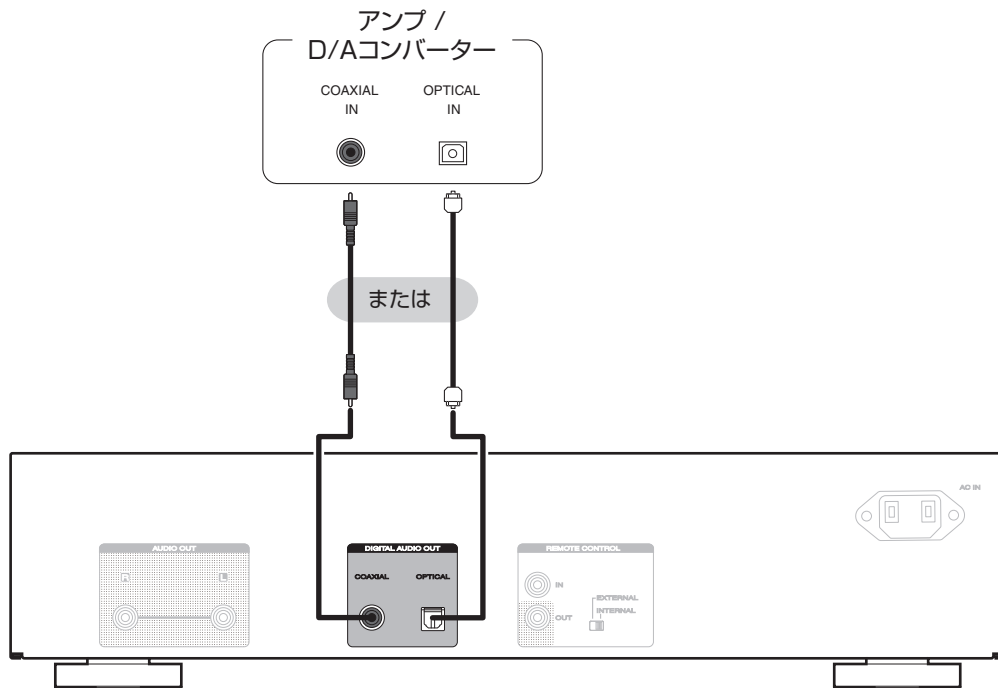
オーディオケーブル (付属)	
リモート接続ケーブル (付属)	
光伝送ケーブル	
同軸デジタルケーブル	

アンプを接続する



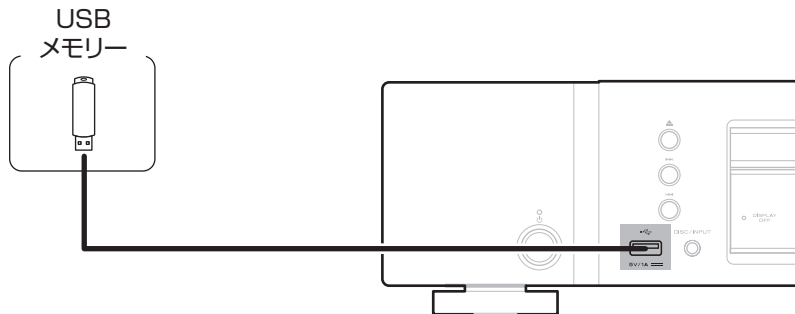
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きのアンプや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。



USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」をご覧ください。(P.34 ページ)



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機と Marantz 製のアンプをリモート接続すると、本機はアンプが受信したリモコン信号をアンプから入力して動作します。次の「接続」と「設定」をおこなってください。

接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

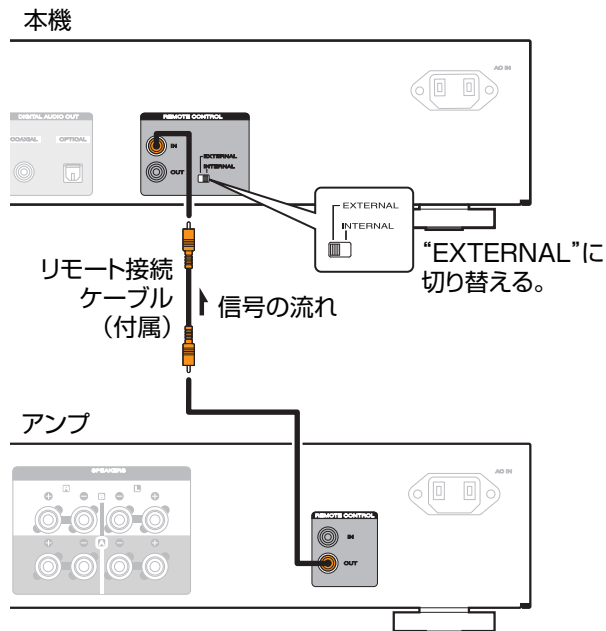
設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

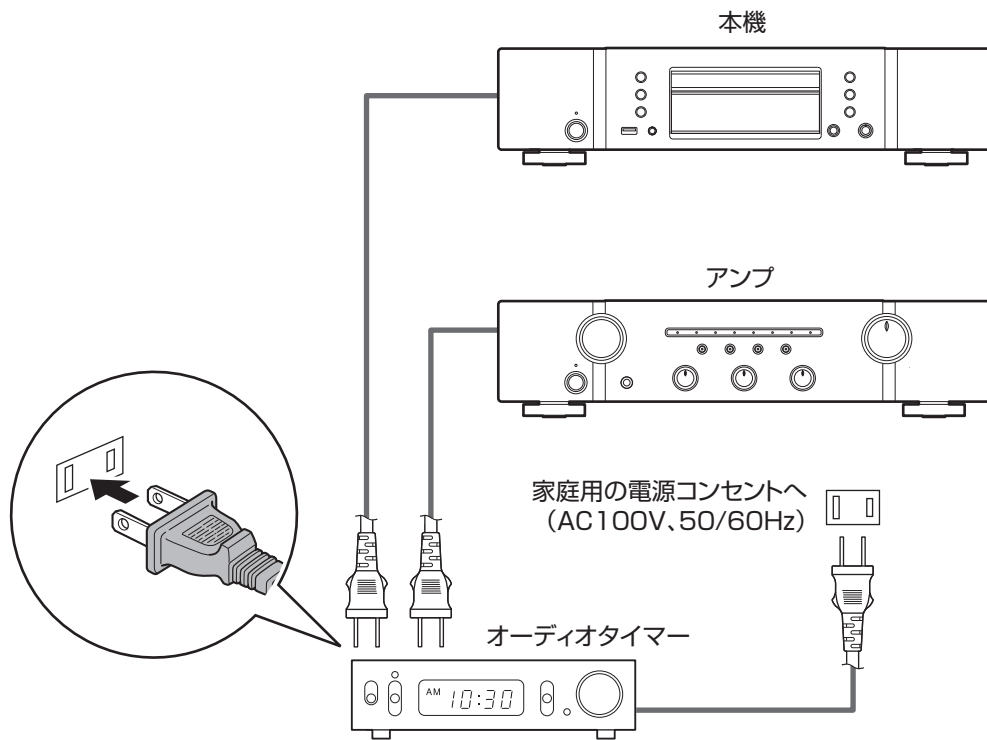


- アンプを接続せずに本機のみで使用する場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。



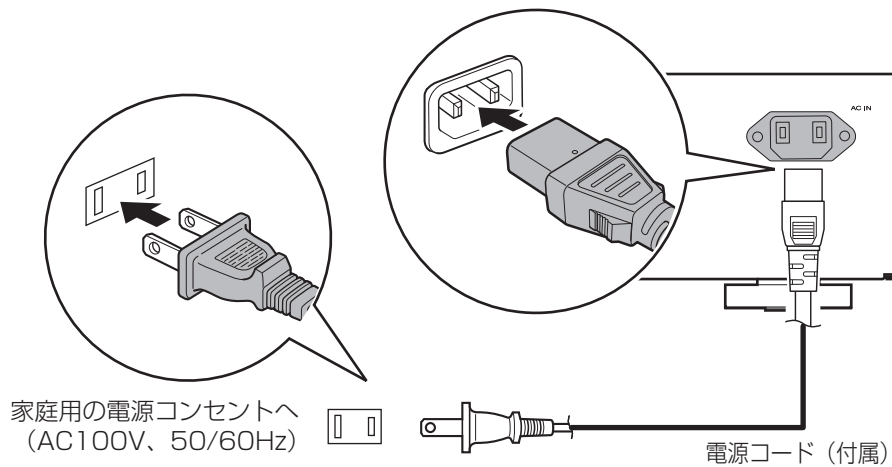
オーディオタイマーを接続する

本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます。([Timer Play](P.40 ページ))



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作	26
CD を再生する	28
データ CD を再生する	31
USB メモリーを再生する	34

メディアモードを切り替える

1 INPUT を押して、メディアモードを選ぶ。

Disc (お買い上げ時の設定):	ディスクを再生するときに選びます。
----------------------	-------------------

USB:	USB メモリーを再生するときに選びます。
------	-----------------------



- 本体の DISC/INPUT を押しても、再生するメディアモードを切り替えることができます。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 4 段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。
- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、最も明るい設定で一時的に情報を表示します。

CDを再生する

- 1 ディスクを入れる。(P.57 ページ)
 - ▲を押すとディスクトレイが開閉します。
- 2 ▶/■を押す。

ディスプレイの ▶ 表示が点灯し、再生をはじめます。

ご注意

- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

操作ボタン	機能
▶/■	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
0~9	曲の選択
RANDOM ⚡	ランダム再生
REPEAT ↺	リピート再生 全曲リピート、1 曲リピートおよびリピートオフを切り替えます。
INFO	時間表示切り替え - 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。 - 本機の表示時間は 1 秒未満を切り捨てて計算しているため、実際の時間と異なる場合があります。

■ 再生できるディスクについて

- 「ディスクの再生について」をご覧ください。(P.52 ページ)

■ 好きな曲を聴く(ダイレクト選曲)

1 0~9 を押して、曲を選ぶ。

【例】

4 曲目：

数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目：

数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

お好みの順序で再生する(プログラム再生)

最大 25 曲までプログラム再生ができます。

1 停止中に PROGRAM を押す。
ディスプレイに“Program”を表示します。

2 0～9 を押して、曲を選ぶ。
【例】

4 曲目：

数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目：

数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

3 ►/■ を押す。
プログラムした曲順に再生をはじめます。



- ディスクトレイを開いたり電源を切ったりすると、プログラム再生を解除します。
- プログラム再生中に RANDOM  を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT  を押すと、プログラムした曲順でくり返し再生します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に ►►| を押す。

►►| を押すたびに、プログラムした曲順でトラック番号を表示します。

■ プログラムした曲を取り消す

停止中に CLEAR を押す。

CLEAR を押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

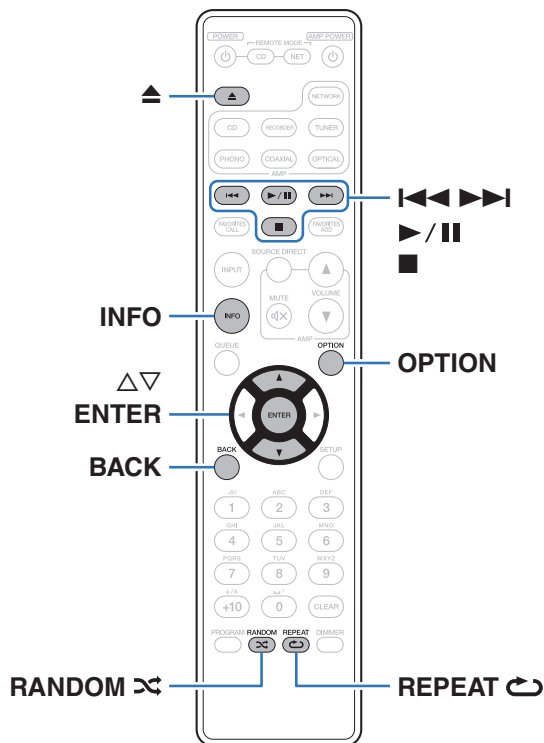


- ►►| を押して、取り消したい曲を選択することもできます。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROGRAM を押す。

データ CD を再生する



- ここでは、CD-R/CD-RW に記録している音楽ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「再生できるファイルの仕様」をご覧ください。(P.52 ページ)
 - MP3
 - WMA

ご注意

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 音楽ファイルを記録してある CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。(57 ページ)

- ▲ を押すとディスクトレイが開閉します。

2 △▽ を押して、CD-R/CD-RW 内の音楽データから再生したい音楽ファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/■	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
BACK	1 つ上の階層に移動
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
OPTION	曲の再生範囲の選択
RANDOM ⌘	ランダム再生
REPEAT ↺	リピート再生 • 全曲リピート、1 曲リピートおよびリピートオフを切り替えます。
INFO	タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名、ファイル名の表示を切り替えます。



- CD-R/CD-RW 再生中に別のファイルを再生する場合は、まず BACK を押して階層表示をおこなってください。次に △▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名、ファイル名の表示を切り替えます。
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

! " # \$ % & ; < > ? @ \ [] _ ` { } ~ ^ ' () *
+ , . - / = (空白)

- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.” (ピリオド)に置き換えて表示します。

■ 再生範囲を切り替える

停止中に OPTION を押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

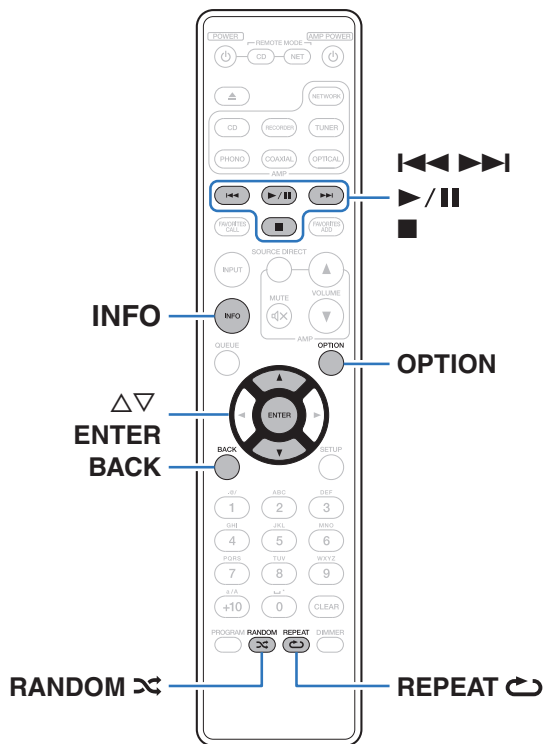
フォルダ再生モード:

選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。このとき、ディスプレイの“FLD”表示が点灯します。

全曲再生モード:

ディスク内のすべての曲を再生します。

USB メモリーを再生する



- USB メモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マストストレージクラスに対応している USB メモリーのみ再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USB メモリーの再生について」(P.54 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- AIFF
- DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 USB メモリーを本機の USB 端子に接続する。
( 21 ページ)
- 2 INPUT を押して、メディアモードを“USB”に切り替える。
- 3 $\Delta \nabla$ を押してフォルダを選び、ENTER を押す。
- 4 $\Delta \nabla$ を押してファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
	再生/一時停止
	停止
	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
BACK	1 つ上の階層に移動
$\Delta \nabla$	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
OPTION	曲の再生範囲の選択
RANDOM 	ランダム再生
REPEAT 	リピート再生 • 全曲リピート、1 曲リピートおよびリピートオフを切り替えます。
INFO	タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名、ファイル名の表示を切り替えます。



- USB メモリー再生中に別のファイルを再生する場合は、まず BACK を押して階層表示をおこなってください。次に $\Delta \nabla$ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。

で注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機に USB メモリーを接続すると、本機は USB メモリーのすべてのファイルを読み込みます。USB メモリーにフォルダ数やファイル数が多い場合、読み込みに時間がかかることがあります。

■ 再生範囲を切り替える

OPTION を押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

フォルダ再生モード:	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。このとき、ディスプレイの“FLD”表示が点灯します。
全曲再生モード:	USB メモリー内のすべての曲を再生します。

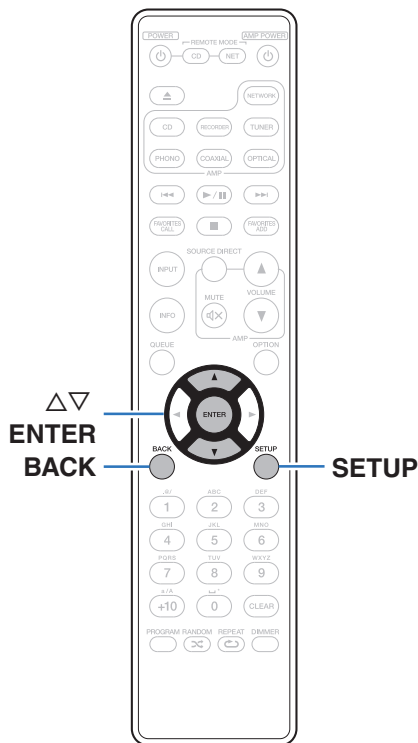
設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

お買い上げ時の設定はおすすめの設定にしています。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	内容	参照ページ
H/P AMP Gain	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。	39
Filter	本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。	39
Digital Out	デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。	40
Timer Play	別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。	40
Auto-Standby	本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	41



設定メニューの操作のしかた

- 1 停止中に **SETUP** を押す。
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 **Δ▽** を押して設定または操作したい設定メニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 **Δ▽** を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER** を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、**BACK** を押してください。
 - 設定メニューを終了するとき、設定メニュー表示中に **SETUP** を押してください。通常表示に戻ります。

H/P AMP GAIN

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“Low”側に、高い場合は“High”側に設定することをおすすめします。

High:	ヘッドホンアンプのゲインを“High”に設定します。ゲイン設定を“Mid”にしても、音量が足りない場合に設定してください。
Mid:	ヘッドホンアンプのゲインを“Mid”に設定します。ゲイン設定を“Low”にしても、音量が足りない場合に設定してください。
Low (お買い上げ時の設定):	ヘッドホンの音量が大きい場合に設定します。

ご注意

- “H/P AMP GAIN”設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げてからおこなってください。

Filter

本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。PCM 入力信号に対応しています。

Filter 1 (お買い上げ時の設定):	インパルス応答は、プリエコー、ポストエコー共に短い特性です。非常に正確なサウンドステージとスムーズなトーンバランスです。
Filter 2:	非常に短いプリエコーと、プリエコーに比べて長いポストエコーの非対称インパルス応答の特性です。ニュートラルなトーンバランスで、“Filter 1”と比べるとわずかに明るい音調です。

Digital Out

デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。

On
(お買い上げ時の設定): デジタル音声信号を出力します。

Off: デジタル音声信号を出力しません。

Timer Play

別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。
(「オーディオタイマーを接続する」(P.23 ページ))

Disc: タイマー再生するメディアモードを“Disc”に設定します。

USB: タイマー再生するメディアモードを“USB”に設定します。

Off
(お買い上げ時の設定): タイマー再生を設定しません。

■ タイマー再生のしかた

1. 接続した機器の電源を入れる。(P.23 ページ)
2. ディスクを入れる、または USB メモリーを接続する。
3. アンプの入力ソースを本機に切り替える。
4. オーディオタイマーをタイマー再生を開始する時間に設定する。
5. オーディオタイマーのタイマーモードをオンにする。
 - オーディオタイマーに接続した機器の電源がオフになります。
 - 設定した時間になると接続した機器の電源がオンになり、再生をはじめます。



- タイマー再生ではランダム再生やプログラム再生はできません。

Auto-Standby

本機が停止したまま何も操作しない状態が 30 分以上続くとき、自動的にスタンバイになるように設定します。

On:	本機をオートスタンバイモードに設定します。
Off	本機をオートスタンバイモードに設定しませ
(お買い上げ時の設定): ん。	

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい	43
特定のフォルダのみを再生したい	43
CD-R/CD-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい	43
WAV ファイルを再生したい	43
本機のリモコンを使用して Marantz 製ネットワークオーディオプレーヤーを操作したい	43

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	45
リモコンで操作ができない	46
本機のディスプレイが表示されない	46
音がまったく出ない	47
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	47
希望する音が出ない	47
USB メモリーが再生できない	48
ディスクが再生できない	49

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違うを楽しみたい

- フィルターの特性を切り替えてください。(P.39 ページ)

特定のフォルダのみを再生したい

- OPTION ボタンを押して、再生モードをフォルダ再生モードに設定してください。(P.33 ページ)

CD-R/CD-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい

- あらかじめ OPTION ボタンを押して再生モードを全曲再生モードに設定してから RANDOM ボタンを押し、ランダム再生をおこなってください。(P.33 ページ)

WAV ファイルを再生したい

- 本機は USB メモリーに保存した WAV ファイルを再生できます。(P.54 ページ)

本機のリモコンを使用して Marantz 製ネットワークオーディオプレーヤーを操作したい

- リモコンの REMOTE MODE NET ボタンを押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えてください。(P.16 ページ)
- ネットワークオーディオプレーヤーの操作方法については、ネットワークオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.24 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。リモコンの POWER ❶ を押してください。(P.26 ページ)

電源が自動的に切れる。

- オートスタンバイモードの設定がオンになっています。オートスタンバイモードでは何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを解除するには、設定メニューの“Auto-Standby”を“Off”に設定してください。(P.41 ページ)

電源が切れ、電源表示が長く 1 回赤色点滅したあとに、短く 3 回赤色点滅している。

- 内部電源の異常により、保護回路がはたらいています。電源コードを抜き差ししてから ❶ ボタンを押し、電源を入れ直してください。電源を入れ直しても解決しない場合、電源コードを抜き当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.6 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.6 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.6 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- リモコンの REMOTE MODE CD ボタンを押して、リモコン操作モードを“CD”にしてください。(P.12 ページ)
- アンプと本機をリモート接続しない場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。(P.22 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.27 ページ)

音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(p.18 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

CD-R/CD-RW を再生中に音が途切れる。

- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。

USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。

希望する音が出ない

ヘッドホンの音量が小さい。

- インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使うときは、“H/P AMP GAIN”を“Mid”または“High”に切り替えてください。(p.39 ページ)

USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。(P.21 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続してください。

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.54 ページ)
- 本機が表示できるファイルのフォルダ階層は最大 8 階層です。また、フォルダ数は最大 255 個でファイル数は 65025 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリー内のファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.54 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。

ディスクが再生できない

再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。

- ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。(P.58 ページ)

CD-R/CD-RW が再生できない。

- ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。(P.52 ページ)
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。
- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.52 ページ)

“No Disc”と表示される。

- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“No Disc”を表示します。ディスクが正しい向きで入っていることを確認してください。

“System Error”と表示される。

- ディスクやフォーマットに起因しないエラーが起きた場合には、“System Error”を表示します。当社の修理相談窓口までご連絡ください。

“Can't Read Disc”と表示される。

- 本機が対応していないディスクを入れたり、汚れや傷のあるディスクを入れたりして本機がディスクを読み込めない場合には、“Can't Read Disc”を表示します。ディスクを確認してください。

“Wrong Format”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されている場合には、“Wrong Format”を表示します。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.52 ページ)

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

ディスクの再生について

再生できるメディア	
CD	
CD-R	
CD-RW	

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ファイル

再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.wma

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数:256 個

フォルダ数とファイル数の合計:512 個

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
 - インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/Apple Lossless/DSD)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48～320kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	48～320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48～320kbps	.aac/.m4a/.mp4
FLAC	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	32/44.1/48/88.2/96kHz	-	.m4a
AIFF	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.aif/.aiff
DSD	2.8/5.6MHz	-	.dsf/.dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Apple Lossless Audio Codec(ALAC)デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目	メディア	USB メモリー
フォルダの階層数 *1		8 階層
フォルダ数		255
ファイル数 *2		65025

*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

*2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイル名のアルファベット順に再生します。

CD-R/CD-RW および USB メモリー

CD-R や CD-RW および USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……、の順番に再生します。

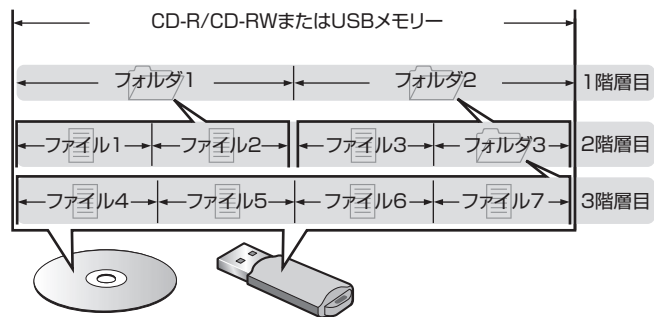


- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。
- USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

フォルダとファイルについて

CD-R/-RW および USB メモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。

ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。

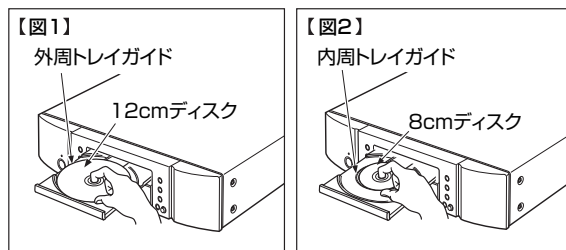


- 音楽ファイルを CD-R/CD-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド(図 1)に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド(図 2)に合わせて、水平に載せてください。



- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて載せてください。

ご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



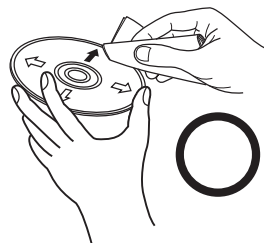
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

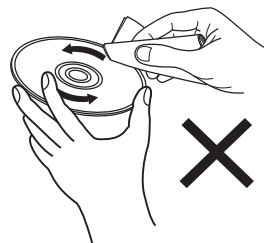
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かさないうでください。
- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ず USB メモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

用語の解説

AIFF (Audio Interchange File Format)

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFF ファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオ CD を作成する場合に使用します。AIFF ファイルは、1 分あたり約 1OMB のディスク領域を使用します。

Apple Lossless Audio Codec

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60～70%に圧縮されたデータを完全に元どおりのデータに再現します。

DSD (Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の 1 つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC(Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビット処理したかを表します。

ファイナライズ

DVD/CD などのレコーダーで収録したディスクを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation)信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

主な仕様

■ オーディオ部

• アナログ出力

チャンネル:

再生周波数範囲:

再生周波数特性:

SN 比:

ダイナミックレンジ:

高調波歪率:

• 出力レベル

信号方式:

ヘッドホン出力:

[PCM]

2 チャンネル

2Hz~96kHz
(サンプリング周波数: 192kHz)

2Hz~20kHz
(サンプリング周波数: 44.1kHz)

2Hz~50kHz(-3dB)
(サンプリング周波数: 192kHz)

2Hz~20kHz
(サンプリング周波数: 44.1kHz)

110dB

110dB(24 ビット)

100dB(16 ビット)

0.0010%(24 ビット)

0.0016%(16 ビット)

2.4V RMS stereo

28mW/32Ω(可変最大)

[DSD]

2 チャンネル

2Hz~100kHz

2Hz~50kHz(-3dB)

110dB(可聴帯域)

110dB(可聴帯域)

0.0010%

1.64V RMS stereo

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

- 光学読み取り方式

レーザー:	AlGaAs
波長:	780nm
信号方式:	16 ビット リニア PCM
サンプリング周波数:	44.1 kHz

- デジタル出力

同軸出力:	0.5Vp-p/75Ω
光出力:	-19dBm

- デジタル入力

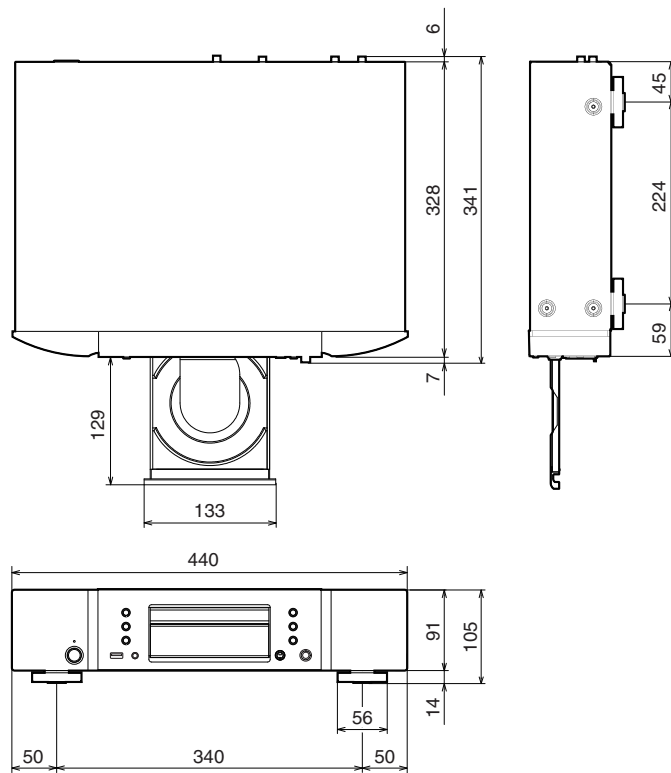
USB(フロント):	USB タイプ A(USB 2.0 ハイスピード)
------------	---------------------------

■ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	32 W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
動作温度:	+5℃～+35℃
許容動作湿度:	5～90%(結露のないこと)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:6.5 kg

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

索引

🔍 C

CD 28

🔍 D

D/A コンバーター 20

🔍 あ

アンプ 19, 20

🔍 お

オーディオタイマー 23

オートスタンバイ 41

🔍 こ

故障かな？と思ったら 44

こんなときの解決方法 43

🔍 て

ディスプレイ 10

ディスプレイの明るさ 27

データ CD 31

🔍 ふ

プログラム再生 30

フロントパネル 7

🔍 り

リアパネル 11

リモコン 12

marantz

Printed in Vietnam 5411 11866 10ASA
© 2020 Sound United. All Rights Reserved.